

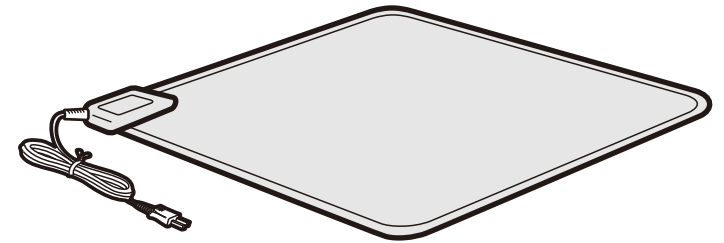
ZEPEAL

保証書添付

ホットマット

DM-K6015

取扱説明書



このたびはホットマットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、取扱いのわからないときや、不具合が生じたときにお役立てください。

長年ご使用のホットマットの点検を！！

ご使用の際、
このような症状は
ありませんか？

- ・電源を入れても暖まらないときがある。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・運転中に異常な音や振動がする。
- ・こげ臭いにおいがする。
- ・差し込みプラグ、電源コード、本体などが異常に熱い。
- ・その他の異常、故障がある。

ご使用中止

故障や事故の防止のため、運転を停止し、コンセントから差し込みプラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
なお、点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

仕様

品番	DM-K6015	
定格(交流100V)50/60Hz	72W	
表面材質	ポリエステル100%	
寸法 (cm)	約60×60	
コード	約1.5m	
温度調節目盛	弱	強
電気代 (円 / 1時間)	約0.7	約1.0
消費電力量(Wh/1時間)	約25	約37
表面温度 (°C)	約35	約45

- 本体表面温度は、室温20°Cで畳の上にホットマットを広げ、3kgの荷重を加えた状態での測定値です。
- 電気代は、室温15°Cで畳の上にホットマットを広げた状態で測定した消費電力量を新電力料金目安単価1kWh27円(税込)として計算しています。
※実際に使用されるときは、ご家庭の使用条件、電力使用量および電力会社などにより多少異なります。
- この製品は、日本国内以外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

ZEPEAL 株式会社 電響社

コールセンター

本社 〒556-0006 大阪市浪速区日本橋東2丁目1番3号

TEL 0120-070-440

FAX 06-6644-4433

[受付時間] 9:00~17:00 (土曜・日曜・祝日を除く)

修理サービスセンター

TEL 075-681-2430

FAX 075-681-0886

[受付時間] 9:00~17:00 (土曜・日曜・祝日を除く)

住所 〒601-8362 京都府京都市南区吉祥院長田町24(電響社サービスセンター)

安全上のご注意 必ずお守りください

このホットマットは、床やイスに敷いて直接暖をとるために使用するもので、一般家庭用として生産されたものです。これ以外のご使用は絶対にしないでください。この用途以外(観賞魚・植物・ペット用など)及び一般家庭用以外(業務用など)でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。

絵表示について

※ここに示した『安全上のご注意』は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのもので、『危険』『警告』『注意』の3つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負うさし迫った危険の発生が想定される内容を示します。

警告 取り扱いを誤ると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。

注意 取り扱いを誤ると傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容を示します。

■お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。(下記は絵記号の一例です。)

※記号の中の絵が具体的内容になります。

してはいけない『禁止』内容です。
 必ず実行していただく『強制』内容です。

危険

乳幼児やご自分で温度調節(又は操作)のできない方は付添いなしでは使用しないでください。
●低温やけどや脱水症状を起こすおそれがあります。

就寝用暖房器具として使用しないでください。
●低温やけどのおそれがあります。

低温やけどや脱水症状を起こすおそれがあります。時々体を動かすなど注意して使用してください。

- 比較的低い温度(40~60℃)でも、長時間皮ふの同じところに触れていると、赤い斑点や水ぶくれができる低温やけどの原因になります。
- 次のような方は特にご注意ください!!
お子様、お年寄り、皮ふの弱い方、眠気を誘う薬(睡眠薬、かぜ薬など)を服用された方や深酒・疲労の激しい方。
- 次のような方は、医師と充分にご相談の上お使いください。
●心臓病などで、ホットマットを使用することが健康上好ましくない方。
●皮ふが弱いなど暖房に注意が必要な方。

警告

絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。
●発火したり異常動作してけがをすることがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

コンセントの差込みプラグがゆるいときは、使用しないでください。また、差込みプラグとコンセントの間にホコリや水分を付着させないでください。
●感電やショート・発火の原因になります。

一般家庭用の交流100V以外では使用しないでください。
●火災・感電の原因になります。

差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。
●発煙・発火のおそれがあります。

注意

使用時以外または、何か異常があった場合、すみやかに差込みプラグをコンセントから抜いてください。
●事故の原因になります。また、思わぬ誤動作を生じることがあります。

ぬれた手で差込みプラグ、コントローラーなどを絶対にさわらないでください。また、水やお茶などの液体をこぼさないでください。
●万一濡らしたときは、過熱や事故のおそれがありますので直ちにご使用を中止し、販売店に点検を依頼してください。

差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜いてください。
●感電やショートして発火することがあります。

座布団、クッション、布団、座イスなど保温性があるものを局部的に長時間同じ場所にのせないでください。
●本体が過熱して、本体表面、置いたもの、床、畳、敷物等が変色・変形するおそれがあり、故障や事故の原因になります。

アイロン台として使用したり、他の加熱物を置かないでください。
●熱で本体(発熱体)を傷め、発火することがあります。

針やピンなどで刺したり、刃物で傷つけないでください。
●本体を傷め、故障や感電の原因となります。

ナフタリンなどの防虫剤は使用しないでください。
●発熱体やコードを傷め、過熱することがあります。

犬や猫などのペットの暖房用には絶対に使用しないでください。
●ペットが本体やコードを傷め、火災の原因となることがあります。

スプレー缶などを本体の近くに置かないでください。
●爆発や火災の原因となります。

コントローラーやコネクターを踏みついたり強い衝撃を与えないでください。
●故障や事故の原因となります。

ベンジン、シンナー、灯油などの揮発性のものを上にのせないでください。
●火災の原因となります。

リモコンやパソコンなどの電子機器を上へのせないでください。
●電子機器の故障の原因となります。

使い方

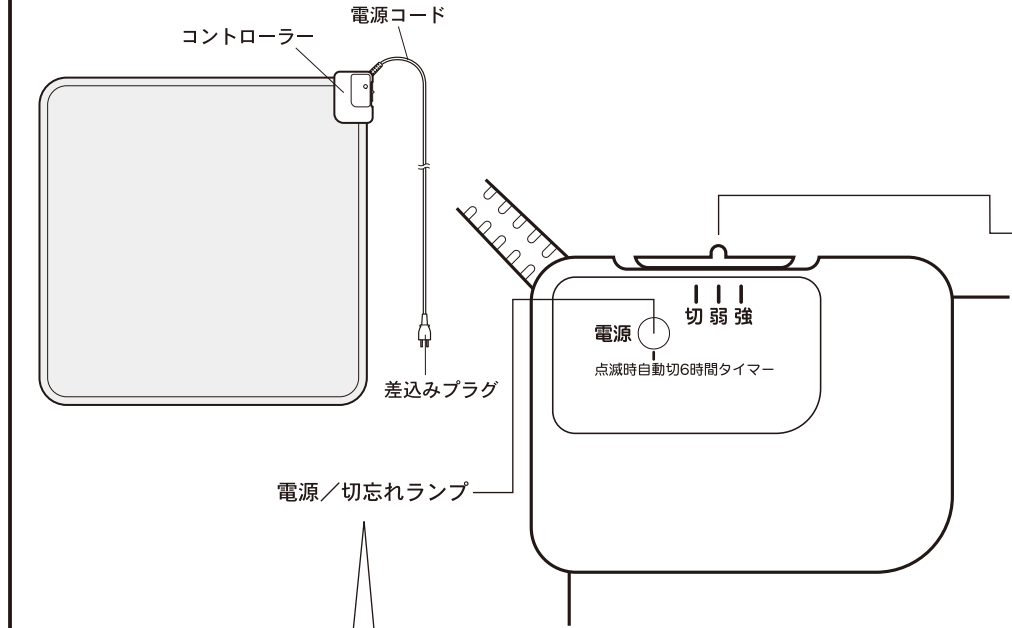


スイッチ部や本体に水・お茶・ジュース等を絶対にこぼさないでください。
もしこぼした場合はご使用を中止し、お買上げの販売店で点検を受けてからご使用ください。
●事故や故障の原因になります。

ご使用になる前に

- ご使用開始直後、しばらくは、プラスチック、ゴム、塗料等の臭いが気になる場合があります。ご使用するにつれて、臭いは少なくなります。気になる場合は、換気をしてください。
- 平らな所に広げて敷いてください。
 - 巻いたり、折りたたんだままで使用すると、過熱により故障の原因となります。
 - 水のかかりやすい場所、熱に弱い床材や敷物の上、玄関口など土足の場所では絶対に使用しないでください。
- 低温やけどを起こすことがありますので、できるだけ温度調節を低めに合わせてください。

各部の名称とご使用の順序



電源を入れると自動的に『切忘れタイマー』がスタートします。6時間経過すると、タイマーが働いて通電が止まり、『電源/切忘れランプ』が点滅してお知らせします。通電が止まった後も続けてご使用になる時は、一度電源を切ってから再度電源を入れ直してください。さらに6時間ご使用いただけます。

1 『差込みプラグ』

をコンセントに差し込みます。
●交流100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

2 『電源/温度調節つまみ』

をお好みの位置に合わせます。
●『電源ランプ』が点灯します。

3 使い終わりましたら

- 『電源/温度調節つまみ』を「切」にし、差込みプラグ部を持ってコンセントから抜いてください。
- 外出時などには、差込みプラグが抜いてあることをご確認ください。

※製品は、絵と多少異なることがあります。

知っておいていただきたいこと

- ご購入直後や毎年使いはじめには温度が低く感じる場合があります。これは保管中にホットマット本体が湿気を含んだり、本体内の温度感知部材が湿気を含むためにおこる現象で故障ではありません。
- 畳やカーペット・熱に弱い敷物や床材・フローリングなど、その他染色された物の上でホットマットをご使用になりますと、変色することがありますのでご注意ください。
- 湿度が高い場合や本体が吸湿している場合は、フローリング等の床面に結露することがあります。

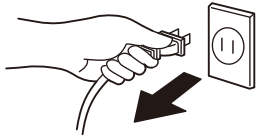
上手にお使いいただくために

- 木やピータイルなど、熱をとれやすい床面でご使用になる場合は、ホットマット本体の下に毛足の長いカーペットを敷くと、床面に熱が逃げにくくなります。
- ホットマットの上に直接おすわりください。座布団やクッションをしますと、温もりが感じられなくなるだけでなく、本体が過熱して変色、故障や事故の原因になります。
- ひざかけをご使用いただきますとより暖かくなります。

お手入れと保管について

お手入れのしかた

※お手入れ前に『電源／温度調節ツマミ』を「切」にし、必ず差込みプラグを持ってコンセントから抜いてください。



●長い間ご使用になると、差込みプラグとコンセントの間にホコリや水分が付着することがありますので、差込みプラグを抜き、乾いた布でふき取ってください。

●シンナー・ベンジンなどの溶剤の使用は、絶対におやめください。

《表面のホコリ》

●掃除機などで吸い取ってください。

《部分的な汚れ》

●コーヒー・ジャムなど、シミが残しやすい物は乾かないうちにふき取ってください。

●中性洗剤(食器用)をぬるま湯でうすめ、布に含ませてふき取り、その後水拭きしてください。

《全体的な汚れ》

●中性洗剤(食器用)をぬるま湯でうすめ、布に含ませてふき取り、その後水拭きしてください。

●市販のカーペットクリーナーをご使用になる場合は、カーペットクリーナーの『ご使用方法』に従ってください。

※カーペットクリーナーの種類によってはホットマット本体(発熱体)を傷めるおそれがありますのでご注意ください。

※コーヒー・ジュースなどの液体や、シミが残しやすい物が付着した場合、ホットマット本体の発熱体部分がスジ状に変色することがあります。

ホットマット本体がシミで変色しても、シミ取り剤などの薬品は使用しないでください。

保管のしかた

《保管前のお手入れ》

●食品のカスや汁などが付着したままですと、保管中にカビや虫が発生する原因となりますのでよく取り除いてください。

《収納のしかた》

●ポリ袋や包装袋に入れ、収納してください。

《保管場所》

●保管の前に『電源／温度調節ツマミ』を「切」にし、必ず差込みプラグを持ってコンセントから抜いてください。

●湿気の少ない場所に保管してください。

●ホットマットの上に重いものを置くのはおやめください。

※防虫剤の使用は絶対におやめください。

生地は化繊を使用しています。ナフタリン・防虫剤の使用は、本体やコンローラーを傷めますので絶対におやめください。



修理サービスを依頼する前に

■故障かなと思ったときは、つぎの点をお調べになってからお買上げの販売店にご相談してください。

こんなとき	おたしかめください
『電源』が入らない。	●差込みプラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？ ●ご家庭用のヒューズやブレーカーが切れていませんか？
暖かくならない。	●『電源／温度調節ツマミ』が「切」になっていませんか？ ●『切忘れタイマー』が働いて『電源／切忘れランプ』が点滅していませんか？
操作部から音がする。	●温度調節器の作動音で故障ではありません。

■上記の処置をしてもなおらなかった場合は、お買上げの販売店へ点検・修理をお申しつけください。



分解禁止

お客様ご自身での修理・改造は絶対に行わないでください。

■下記の場合はお買上げの販売店にご相談ください。

- 取扱説明書どおりに使用されていても、まだご不明な点があるとき。
- ホットマット本体が異常に熱いとき。
- ときどき暖かくならないとき。
- コードが傷んだり、差込みプラグ・コンセント・コンローラー一部が熱くなりすぎるとき。
- コンローラー部の損傷や生地のすりきれにより発熱体が見えたとき。
- コンローラー部に水やお茶など液体をこぼしたとき。

修理サービスについて

(1) 保証書

●この製品には、保証書がついています。保証書は、お買上げの販売店で『販売店名・お買上げ日』などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。保証期間は、お買上げ日より1年間です。

(2) 修理を依頼される時

●保証期間中でも保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
●保証期間が過ぎているときは修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

(3) 補修用性能部品の保有期間

このホットマットの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打切後6年です。

(4) ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

●お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

(5) 修理サービスについてご不明な場合

修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店にご相談ください。